

尿検査の実施について

腎臓をはじめ、体のどこかに異常があると不要な物が体から出なかつたり、出なくてはならないものが尿にまじって出たりします。このような体の異常をさぐるため、尿の中の成分や性質、量などを調べます。検査項目は以下の通りです。

糖

正常では尿の中に出ませんが、血糖値が一定の限度をこえると尿の中に糖が出てきます。糖尿病の発見に役に立ちます。

蛋白（タンパク）

生理的タンパク尿は、過激な運動や精神的ストレス、発熱などでみられます。病的タンパク尿には腎炎、ネフローゼ、尿路の炎症、結石、貧血や心臓病など多くの原因があります。

潜血

血尿、ヘモグロビン尿、ミオグロビン尿などで陽性になります。血尿は腎・尿路系の炎症や結石など多くの原因でおこります。

ウロビリノーゲン

検査結果で異常と判断された場合は、胆道の病気が疑われたり、溶血性貧血、急性・慢性肝炎、肝硬変、肝障害など肝臓の病気が疑われます

異常の検査結果が出ましても確定診断ではありません。専門医（泌尿器科など）にかかって二次検査を受けていただくことになります。

尿の取り方



- ① 提出日の朝おきて、すぐの尿をこの紙コップに取って下さい。



- ② プラスチックの容器で吸い取るように「ここまで入れる」と書かれているところ以上入れて下さい。フタはしっかりとしめてください。

2月13日（水）にご提出ください。